

ヨハネによる福音書 1章1～18節

1 ¹ 初めに言^{ことば}があった。言は神と共にあった。言は神であった。² この言は、初めに神と共にあった。³ 万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。⁴ 言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。⁵ 光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

⁶ 神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。⁷ 彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。⁸ 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。⁹ その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。¹⁰ 言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。¹¹ 言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。¹² しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。¹³ この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

¹⁴ 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。¹⁵ ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。「『わたしの後^{あと}から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。」¹⁶ わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。¹⁷ 律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。¹⁸ いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいるひとり子である神、この方が神を示されたのである。